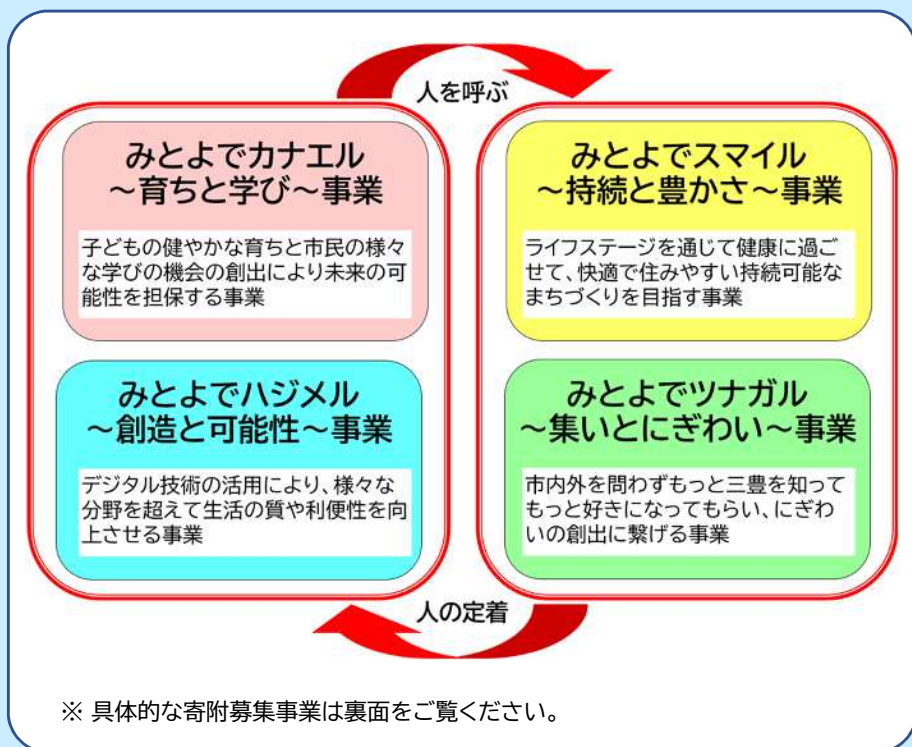


三豊の未来 いっしょに描きませんか



寄附によるメリット

SDGsやESGなど
社会貢献活動に寄与

企業のPR

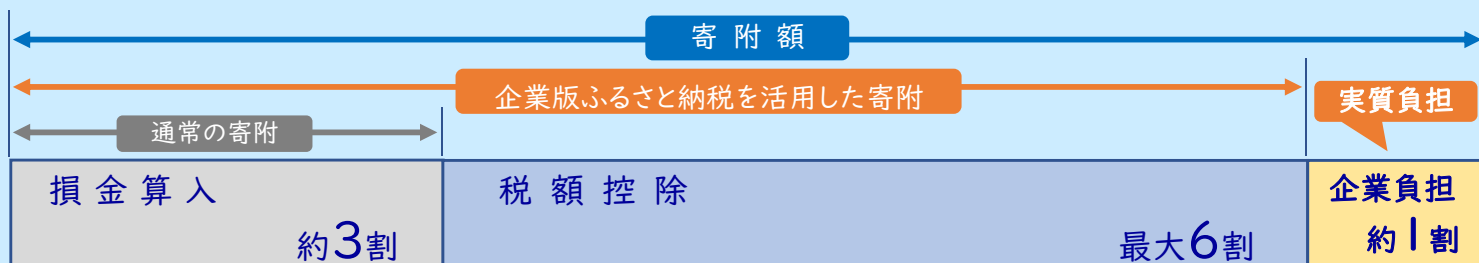
三豊市との
新たなパートナーシップの構築

寄附による損金算入に加え、法人関係税
から税額控除（最大で寄附額の約9割）

企業版ふるさと納税の概要

「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる市の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、税額控除（寄附額の最大6割）により、**最大で寄附額の約9割が軽減**され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。



法人住民税

寄附額の4割を税額控除。（法人住民税法人税割額の20%が上限）

法人税

法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）

法人事業税

寄附額の2割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）

※ 税額控除の手続（申告）や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。



三豊市放課後改革

みとよでカナエル ～育ちと学び～ 事業



三豊市では、全国的に進められている学校部活動の地域展開をきっかけに、単なる地域展開ではなく「放課後改革」として新たな取組を進めています。

「三豊市だからできないではなく、三豊市だからできる」を合言葉に都市や地方などの住んでいる地域による体験格差が生じないように子どもたちの選択肢を広げたいと思っています。子どもたちの興味関心を育み、将来につながる学びの場を創っていくため放課後改革に取り組んでいます。

みとよの未来を拓く STEAM・AI人材×スタートアップ育成プロジェクト

みとよでハジメル ～創造と可能性～ 事業



人口減少、少子高齢化、就学や就職による都市部への人口流出が進んでいる中で、今後、地方では地域の課題を解決していく人材の不足がより一層深刻になります。いかに人材を確保し、限られた人材の中で最大限のパフォーマンスを引き出そうとするときに重要とならうるのは地元で学び、専門的な知識を蓄えている高等教育機関に通う学生たちです。学生たちにはSTEAM・AI等の専門的知識を身に付け、地域の課題解決に向き合い、卒業後も地域で活躍しイノベーションを起こしていくことが期待されます。

地域の課題を解決する人材の育成を目指し、学生や地域へのSTEAM・AI教育支援やスタートアップ支援などを行います。

三豊市 ～未来を乗せて進め～ 自動運転プロジェクト

みとよでスマイル ～持続と豊かさ～ 事業



三豊市では、急速な人口構造の変化により高齢者等の移動困難者の移動手段の確保は喫緊の課題であることから、自動運転技術を取り入れた公共交通の確立により、市民生活の持続確保と働き手不足を補うことを目的に、企業様などとの連携による地域課題の解決を図りたいと考えております。

本市の公共交通計画基本理念である「行きたいときに行きたいところへ行けるまち」を目指し、多極分散型のまちづくりにおいて、自動運転が公共交通ネットワークの構築に一躍を担い、いつまでも好きに出かけられ、心身共に健康を保てる生活が送れることを目標としています。

2050三豊市カーボンニュートラルプロジェクト ～地球再生への挑戦～

みとよでスマイル ～持続と豊かさ～ 事業



地球規模の課題である地球温暖化や気候変動に対処するためには、社会全体が協力し、温室効果ガスの排出削減と吸収源対策を行う必要があります。

三豊市は2050年のカーボンニュートラルをめざし、「省エネルギーの推進」、「再生可能エネルギーによる創・省・蓄の推進」、「地球にやさしい交通まちづくりの推進」、「吸収源対策の推進」、「教育・啓発活動」、「生物多様性の確保」に積極的に取り組み、市民の暮らしを守り、子どもたちに自然豊かな未来をつないでいきます。

父母ヶ浜 感動サスティナブルビーチプロジェクト

みとよでツナガル ～集いとにぎわい～ 事業



海に鏡のように映し出された絶景が人気となり、「日本のウユニ塩湖」として、国内外から年間50万人が訪れる「父母ヶ浜」。地域住民が守り抜いた景観が人々を魅了し、観光客が撮影した写真のSNS拡散がさらに多くの人を引き寄せています。

地域内外から訪れた人々の満足度を上げるような空間であり続けるため、充実した時間を過ごせるように駐車場の芝生公園化などユニバーサルデザイン整備を行います。

宝山湖ボールパーク夢いっぱいプロジェクト

みとよでツナガル ～集いとにぎわい～ 事業



宝山湖ボールパークは、企業版ふるさと納税等を活用して高水準なスポーツ施設へと生まれ変わりました。新しくなった宝山湖ボールパークでは、民間活力を活用し、スポーツを核とした「教育」「健康」「ツーリズム」など多角的に事業を展開しながら、にぎわい創出に取り組んでいます。

子どもたちの可能性を育て、切り拓く舞台となる宝山湖ボールパークをより良い施設へとさらに整備を進めていきます。

引き続き、カマタマーレ讃岐のJ1昇格をサポートするとともに、スポーツを中心に民間企業とのパートナーシップのもと、地方創生に取り組めます。